

保護者向け 児童発達支援評価表

事業所名：ととのキッズ（児童発達支援）

保護者等数（児童数）24名 回収数23 回収率95%

調査期間：令和3年2月8日～3月4日

公表日：令和3年 3月 15日

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	1	9	・スペースは狭いですが、公園が近くにあるので良いと思います。 ・コロナで見たことが無いので分からないことが多い。 ・はじめに利用させて頂いた場所と変わったのではわからない。 ・園送迎の為わからない。 ・状況が落ち着きましたら一度どういう形で活動をしているのか見学したいです。	・感染拡大の影響もあり、療育室の見学ができていない状況です。療育室の見学につきましては、サービス提供時間帯以外で対応可能です。また療育室の部屋の環境を毎月のお知らせやLINEでの発信を検討いたします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	10	・異動や新人等ではやはり適切な対応まで時間はかかると思います。 ・ここ数年入れ替わりが多いので紹介されるけど覚えていない。 ・園送迎の為わからない。 ・状況が落ち着きましたら一度どういう形で活動をしているのか見学したいです。	・現時点での職員配置は、管理者1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士3名・リハビリ職3名となっております。感染拡大の落ち着きに伴い療育への影響がない範囲での見学の受け入れは可能となります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0	0	7	・状況が落ち着きましたら一度どういう形で活動をしているのか見学したいです。 ・園送迎の為わからない。	・療育室は全てバリアフリーとなっております。またトレイの高さなど工夫が必要な場合は、福祉用具の使用など適切に環境設定をしております。感染拡大の落ち着きに伴い療育への影響がない範囲での見学の受け入れは可能となります。お問合せ頂ければと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	2	0	6	・園送迎の為わからない。 ・状況が落ち着きましたら一度どういう形で活動をしているのか見学したいです。	・今年度は、感染拡大予防に努めて感染委員会もとの衛生管理をおこなっています。療育毎に活動の道具・機器等の消毒を毎回実施しています。また給食・おやつ時は、適切な児童間の距離や職員の衛生管理にも努めております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22	1	0	0	・よくされていると思います。	・保護者のニーズは、個別支援計画書更新に応じてモニタリングをおこなっていきます。その結果を管理者やリハビリ専門職と共有し分析していきたいと思っています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	0	0	1		・ひとりひとりの療育ニーズに沿ったプログラムを立案しています。個別療育・小集団療育の工夫はリハビリ専門職の意見を取り入れ作成しています。児童の発達支援には、ご家族の暮らしを支える支援や地域資源との連携も視野にいたった計画作成となる様に更なる研鑽に努めていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	1	0	0		・個別支援計画の目標は、発達支援・家族支援・地域支援について各々に目標設定しています。立案された目標が妥当かどうかをモニタリングやカンファレンスを通じて振り返りが必要と感じています。発達支援にとどまらず、家族支援では保護者様のサポートを、地域支援では、必要な関係機関との連携に努めていきたいと思っています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	1	素人なのでわかりません。	・月単位で活動の予定を立案しています。運動や生活面の学習をバランスよく取り入れて計画が作られています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	1	0	2	・今はコロナの為あっていない	・当法人のたまご保育園や学童クラブとの交流活動を次年度も継続していきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1	0	5		・契約時に職員より必ず説明するようにしています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	1	0	0		・支援内容の説明は、発達支援・家族支援・地域支援に沿って説明し、さらにガイドラインについて知識を深める研修を児発管および職員を対象に実施していきたいと思っています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	3	0	7	・障害児の会を作りたいという申し出について、サポートをしてもらって心強く思っています。 ・いつでも電話で相談させて頂いていますが、トレーニングまでは受けてないです。 ・プログラムがどうかわかりませんが親の課題にも対応して頂いています。	・家族支援につきましては、その必要性和価値を重く受け止め支援していきたいと思っております。家族支援プログラムの実施には、多くの研鑽と人材育成を課題に感じております。今後は、事業所での研鑽を積み保護者の皆様に併走していきたいと思っております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	21	1	0	1	・リハビリの先生が細かく見てもらっている。保育士の先生にも交流の様子を伝えてもらい安心して通っている。 ・あいさつ程度の会話で具体的な話はあまりしていない。	・来所、降所時に保護者の方への状況報告をおこなっています。療育内容をさらに詳しく共有できるようにリハビリ専門職の療育相談をすすめているところです。問い合わせ内容に応じた専門職が課題共有に努めていきたいと思っています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3	0	2	・ノートでの報告はしっかりされています。	・モニタリング時に定期的な助言ができるように努めていきたいと思っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されるか	5	3	4	11	・今はコロナの為、あっていないようだ。 ・このような状況なので仕方ないと思う。	・今年度は、感染拡大もあり開催に至っておりません。次年度は保護者の方が参加しやすい工夫（小人数やリモートの活用）をおこなってきたいと思っています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1	0	0	・よくされていると思います。	・面談や相談は随時対応可能です。事前に予約を頂ければ適した専門職（保育士・看護師・リハビリ専門職・社会福祉士）で対応いたします。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	0	0	1	・コロナがあったときLINEで細やかに情報の伝達が行われていた。プライバシーにも配慮してあった。 ・その場にいらないのでわからない。	・面談、電話、メール、連絡ノートでの情報伝達可能です。必要に応じて視覚支援や文書の作成など配慮をしております。	

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に	22	0	0	1		・ホームページのブログ等で活動状況を発信しています。また月に1回の事業所のお知らせで行事予定や活動報告をおこなっています。個人情報保護方針に応じた発信に努めています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	0	0	1		・契約時に個人情報取り扱いの同意を取らせていただき、会報には同意のあった児童のみ載せるようにさらにダブルチェックに努めていきたいと思っております。また個人の事業所事務所内で鍵の付いた場所に保管し注意深く取り扱っております。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	0	0	3	・コロナウイルス感染者発生時に、全体LINEに例として「この時点で電話が来ていない方は濃厚者に該当しません」と明確に表記して頂けると助かります ・コロナの感染が気になります。出来ない子供もいると思います ・マスクを付ける事をしてほしい。	・全体LINEの発信については、「この時点で電話が来ていない方は濃厚者に該当しません」の表記は必要性を再確認いたしました。次回より努めて記載をしていく所存です。マスク着用につきましては、感覚過敏などで苦手なお子さんに対する支援の工夫を検討しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	0	0	6	行われているんだろうけど意識しておらず不明。	・毎月、火災・自然災害・防犯に分け防災訓練と年に2回程の他事業所と共有での避難訓練が予定されています。今年度は大雨災害も備えて訓練を実施し、非常災害マニュアルの作成をおこなっております。 次年度の訓練計画を年度初めに報告いたします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	0	0	・とても楽しみにしております。 ・コロナの外出自粛中は「てとでのキッズ行きたいな」と言っていたので嫌ではないと思っております。 ・すごく楽しみに通っています。いつも楽しみにしています。	・個別療育、集団療育の計画では、出来るだけ楽しいと思える活動内容の提供に努めております。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	22	1	0	0	・個別のプログラムも充実しており、フィードバックもしっかりしてください。 ・大満足です。これからもよろしくお願いします。ぜいたくを言えば他と同じではなくキッズができることを増やしてほしい。 ・とても感じが良く安心して預けることが出来る。担当の先生が途中でいなくなりそれっきり会わないのでそれが気になる ・当日の内容もくわしく書いていただきありがとうございます。	・個別療育や小集団療育は、リハビリ専門職のみで実施する当事業所の個性を発揮した療育ではありますが、今後もさらに研鑽を重ねて、療育の成果物を保育園等や小学校に連携できる力を身に付けたいと思っております。

・上記とは関係ありませんが、コロナウイルス感染者発生時に全体LINEに例として「この時点で電話がきていない方は濃厚者に該当しません」と明確に標記していただくと助かります。